

プラグレス工業株式会社

溶接技術に強みを持つ

金属製品メーカー

納期相談
企画力自信有
コスト相談
試作可
小ロット



架台製作（組入作業）

主な事業内容

ステンレス、鉄などの金属加工

主な取引先(納入先)

中央プロテックス、サカエ金属、三精工事サービス

主な製品

架台、ダクト、手すり、階段、タンクなど

業務内容 架台やダクトなど 幅広い製品を製作

プラグレス工業は、鉄やステンレスなどの金属を加工し、架台、ダクト、手すり、階段、タンクなど多岐にわたる製品を製作する企業である。創業は昭和61年、株式会社化したのは平成20年という、比較的若い会社だ。溶接の技術を持つ職人である酒井真一郎会長が、いわゆる「一人親方」として、金属製品加工の請負業を始めた。職人を増やし、工場も拡張するなどして、会社組織にまで育てた。

社名は個人営業の時代から変えていない。酒井会長の奥様の発案で「進歩・発展」を意味する言葉の「progress」をネイティブの発音に近い表記にして、個性を持たせた。

強み 全員が溶接技能者資格を持つ 専門家集団

強みは、溶接技術である。「一人親方」だった酒井会長の技術をOJTで、職人たちに引き継いできた。また、技術の裏付けとして、従業員全員がJISの溶接技能者資格を持っている。製造現場は一つの製品を同じグループ内で、完成品まで仕上げる体制を敷く。

乗果 相効 若き兄弟経営者が 切磋琢磨する関係に

従業員数7名という少数精鋭企業で、従業員のフットワークが軽いことが特徴だ。手すりや扉、機械架台などの大型物件は、現地での寸法取りから、工場での製作、現地への据付まで、すべて同社の従業員がこなす。その一貫した作業体制から、得意先の信頼は厚い。

創業者・酒井会長の後を継いだ酒井忠臣社長は、会長の次男である。数年前に社長に就任した35歳の青年社長であり、若い従業員とコミュニケーションもよく取れている。また会長の長男は、創業の地・大阪府高槻市で業態がほぼ同じ別会社を立ち上げた。「兄弟で切磋琢磨する良い関係にある」と酒井会長は言う。狙い通りの相乗効果だ。

社長あいさつ



代表取締役
酒井 忠臣さん

私は中学生の頃から現場の作業を手伝い、技術を覚えてきました。若くして経営を任せましたが、丁寧な仕事をして納期も守ることで、父が築いてきたお客様からの信頼を傷つけないよう努めています。同じ仕事をしている兄は良き相談相手です。ともに繁栄できればと思っています。

主な保有設備

- クレーン(2.8t, 1t)
日立産機システム製、キトー製 5台
- 半自動溶接機、TIG 溶接(350A)
パナソニック製、ダイヘン製 10台
- 直立ボール盤(孔加工 φ45まで)
吉田鐵工所製 6台
- クリーンカッター(65C)
昭和精工製 1台
- 定盤(6m×4m 3m×2m)
2台

大阪
03

住 所 / 〒567-0062
茨木市
東福井3-37-2

T E L / 072-643-2321

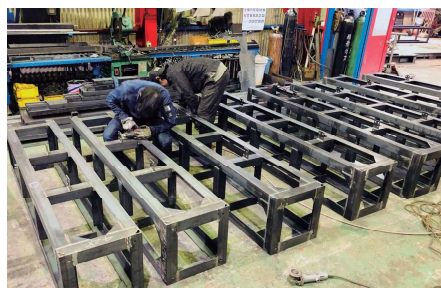
F A X / 072-643-3432

創 業 / 昭和61年4月

設 立 / 平成20年4月

資本金 / 300万円

従業員 / 7名



架台製作



ケーブルダクト製作



<http://progress-kk.net/>